

【令和5年度第1回伊吹山を守る自然再生協議会】

議事録

- 日 時 令和5年8月25日（金）10時00分～12時30分
- 会 場 米原市役所山東支所2階 会議室2AB
- 出席者 別表のとおり

- 議事進行 会長：白井（滋賀県琵琶湖環境部次長）

[凡 例] 会長◆ 委員○ 事務局等●

報告事項

(1) 令和4年度事業報告および決算報告について（資料1-1～1-2）

- ・令和4年度事業報告および決算報告について、事務局より説明が行われた。
 - （委員）今年度の繰越金はいくらになるか。繰越金を基金には入れる予定はないか。
 - 令和5年度への繰越金は4,257,319円となる。繰越金は、次年度の当初部分の事業費にあてて事業をしていく。

(2) 令和5年度事業の進捗報告および今後の予定について（資料2-1～2-3）

- ・令和5年度事業の進捗報告および今後の予定について、事務局より説明が行われた。
- 質疑なし

(3) 伊吹山南斜面（表登山道）の状況について（資料3-1～3-2）

- ・伊吹山南斜面（表登山道）の状況について、事務局より説明が行われた。
- ・伊吹山登山道の修繕について、滋賀県長浜土木事務所より説明が行われた。
 - （委員）登山道のルートの変更について検討の余地があるとの説明だったが、およその案があれば教えてほしい。
 - （長浜土木事務所）7合目の大きな崩落について、今後詳細に現場確認をしていき、その結果を踏まえて、その部分を迂回するような形で登山道のルート変更等を考えていく必要がある。
 - （委員）自然の材料を使ったソフトな工法ということによいか。
 - （長浜土木事務所）今まで地元の方がされてきた自然に優しい工法を基本にしていきたいと考えている。
 - （委員）各地の高い山での経験と最新の工法を参考に良いものを作っていただきたい。また、再発防止のためには、山腹全体の治山事業の対策が必要と思うが、何か検討しているのか。
 - 応急措置とは別に、根本原因への対処となるような事業について、米原市と滋賀県で

考えようと動き出したところ。

- (委員) 関係各課や各関係者の知恵を集めて良い形で早く回復できるようにお願いする。
- (委員) 7合目の迂回について、植物の生えている場所を触ると、またそこが裸地化されるので、有識者の指導を受けて進めてもらいたい。
- (長浜土木事務所) 後日の現地調査を踏まえて、協議しながら検討していきたい。
- (委員) 元々登山道は上野区で維持管理してきたという現状がある。登山道のルート変更は一部にとどまるということだが、登山道の大きな被害場所以外にも非常に歩きにくい場所が多々ある。そこで、今回の長浜土木事務所の事業では、資料に記載のある大きな被害場所だけを修繕して、それ以外の場所は対応されないのか。そういうことであれば、我々の団体が大きな被害場所以外を並行して修繕していきたいと考えているので、その点について見解を示していただきたい。
- (長浜土木事務所) 長浜土木事務所の事業では、すべてを修繕することはできないと考えている。崩落の規模が大きいところや目立つところの修繕をしていきたいと考えているので、地元の方の協力もいただきたいと思う。
- (委員) 人力なので作業量はしれているが、メンバーと相談して取組を継続していく。これまでやってきた経験を伝えながら、効果的な取組をしていただきたい。
- (委員) 長浜土木事務所には、雨で流れないかどうかを試験的に確かめていただく必要があると思う。着実に自然を見ながら進めていただきたい。
- (委員) 伊吹山で採掘をしている滋賀鉱産はいろいろと知見を持っていると思うが、力を貸していただきたい。
- (滋賀鉱産) 降雨については、採掘をしている中で集中的に降ることがあるが、鉱山道路では一定箇所に流し続けないように、定期的に排水の方向を変えるようにしている。雨が降らない時期もまめに流れを変えることで、崩落することを防止しているが、重機が入れるので比較的容易に作業ができています。登山道で同じ作業が可能か分からないが、参考になるのであれば、現地を見ていただければと思う。
- (委員) 資材の運搬にヘリを使う予定はあるか。使う予定があれば、飛行ルートや時期について、希少動物をはじめとする野生動物に影響を与えない方法があると思うので聞いてもらいたい。
- (長浜土木事務所) 現時点ではヘリを使う予定はないが、もし使うことになれば配慮させてもらいたい。

(4) 各団体の諸活動について (資料4-1~4-3)

- ・伊吹山もりびとの会、伊吹山ネイチャーネットワークおよびユウスゲと貴重植物を守り育てる会より活動の説明が行われた。
- (委員) 資料16ページの番組が放送されてから、お客が花を触っており、山頂で注

意している。また、腕章をつけたボランティアガイドが花を採って、お客に渡して匂いがかがせる行為を目撃している。そのような行為は良いのか。

- 花を採るということがあるとしたら、米原市から指導する。
- （委員）貴重植物について、山頂部分の調査は完了して全貌が大体分かってきたが、北尾根は全然調査できていない。希少な植物があることは分かっているので、調査が非常に重要である。
- （委員）笹又の防護柵設置前か設置時点のデータはあるか。
→（伊吹山ネイチャーネットワーク）重要植物以外の植物については、我々としても改めて発見したものである。
- （委員）資料 23 ページに柵が壊れた写真があるが直されたのか。
→（伊吹山ネイチャーネットワーク）私たちが発見したのが一週間前で、それから部会に報告してまだ間もないため、修繕していない。
- （委員）のこぎりで対処できるので、何とかしたいと思う。
- （委員）問題行為の通報については、窓口を一元化して、すぐに対応できる体制を取ってもらいたい。
- （委員）そのことに関して、五感を使って自然に親しむのも大切な手法だが、山頂のような特殊な場所では、それなりのルールを作っておかなければならない。まずは基本的なことを整理して、都度高めていけばよい。現場で直接対応される方が困るので、基準となる明文化したものをみんなで守る必要があると思う。簡単なものでいいので、早急に作る必要がある。
- （委員）ガイド等の質の向上とサービス向上のために、協議会主催で研修を繰り返すのは、効果があがるのではないかと思う。協議会発足の当初は、そういった取り組みも 1, 2 度していたが、また意識的にそういった取り組みをして、情報の共有をしていけたら有意義ではないかと思う。
- （委員）保護に関する啓発で、伊吹山ほどそういった看板がない山は、あまりないように思う。早急にして当たり前と思う。全国に参考にするものはいくらでもある。ガイドを見ていると気になる方がいるので、伊吹山の公認ガイドを作って、公認ガイド以外はガイドできないようにすべきと思う。
- （委員）ボランティアガイドは素晴らしいと思うが、その名称では誰でもできるように感じられる。伊吹山自然ガイドのような名称にして、講習を受けた方しかガイドできないように制限していき、大切な自然を守っていく必要がある。

(5) 伊吹山ニホンジカ捕獲事業令和 4 年度報告・令和 5 年度計画について（資料 5）

- ・伊吹山ニホンジカ捕獲事業令和 3 年度報告・令和 4 年度計画について、米原市まち保全課より説明が行われた。（山頂についてもわなの設置を検討している。）
- （委員）資料 31 ページの図について、□と△がわなの違いの凡例か。

- (米原市まち保全課) □が囲いわな、△が箱わなになる。
- (委員) わなの設置期間が書いていない。基、日当たりで書いてもらおうと正確な比較になる。囲い罫は捕まった平均頭数を書いていただきたい。
- (米原市まち保全課) 今後はそのような統計の取り方を進めてまいりたい。
- (委員) 岐阜県でもシカの捕獲をしているのであれば、岐阜県側の取り組みも同じように示してもらいたい。
- (米原市まち保全課) 岐阜県側とも、連携しながら今後進めていきたいと思っている。
- (委員) 今月に入ってから、銃器によるシカの捕獲を行っていると思うが、その結果の報告はしてもらえるか。
- (米原市まち保全課) 十分に安全に配慮したうえで、4合目から6合目にかけて8月6日に銃器による捕獲を実施して、5頭の捕獲を行った。今後の入山禁止の解除を踏まえて、十分に安全を配慮しながら進めていきたい。

(6) 採掘跡地緑化事業令和4年度実績報告・令和5年度計画について(資料6-1～6-3)

- ・採掘跡地緑化事業令和4年度実績報告・令和5年度計画について、滋賀鉱産株式会社、住友林業株式会社より説明が行われた。
- (委員) アーチブロックで囲っている多年草には寿命がある。多年草が食べられ続けると、養分が蓄えられなくて劣化していく。生えてくるだけでは成功でない。アーチブロックで安心とは言えないと思う。
- (委員) 滋賀鉱産でしているのは緑地回復なので、これで回復していけば良いと思う。アーチブロックでは、口が奥まで入らないのでそこまで食べられていない。シカは網目が7, 8 cmだと、足が入ることを嫌がるのではないか。踏みつけるようにして、何も気にせずに歩いているのか分かれると良い。
- (滋賀鉱産) シカが実際に歩いているところは見えないが、足跡があるので慣れて入ってきている。
- (委員) 網目が10 cm以上あると、楽々歩いて口も入ってくる。非常に参考になった。
- (委員) 緑化するときには生長点が低いものを植えると、繁殖する機会が増える。植物種を適切に選ぶというのが良いと思う。
- (委員) 年間の採掘量や断面の変化について報告いただきたい。
- (滋賀鉱産) 情報開示できる範囲について検討する。

(7) 「花のゆりかごプロジェクト」について(資料7-1～7-2)

- ・「花のゆりかごプロジェクト」について、青木委員より説明が行われた。
- 質疑なし

その他

- （委員）米原市はふるさと納税で寄付金を集めているが、その寄付金はシカの食害の抑制や自然環境の保全に充てられると聞いているが、南側斜面の登山道等に使ってもらえると思っているがどうか。
- 南側斜面の登山道復旧のために、支援いただいているのでそのように使っていきよう考えている。
- （委員）東遊歩道にあるシモツケソウの柵はどこが設置したものか。
- （委員）協議会で最初に作った柵になる。
- 資料の8ページの計画図にある黄緑の小さい柵かと思うが、県で資材を準備いただき協議会で設置したと聞いている。全部で3箇所あるがネットが鹿に食いちぎられて無くなってしまっているなので、そのうち1箇所は新しくネットを設置して復活させた。2箇所目は企業が試験設置されている近くになるので、そこを広げて新たに金属柵を設置したい。3箇所目は、劣化が激しく撤去したいと考えている。
- （委員）ゴンドラリフトの撤去に関する進捗状況について報告いただきたい。難しい問題であることは分かるが、共有してもらいたい。